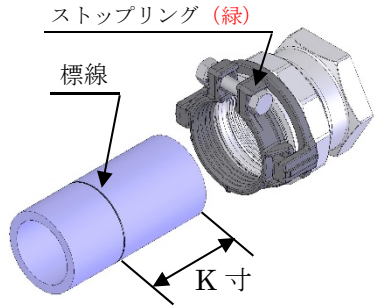


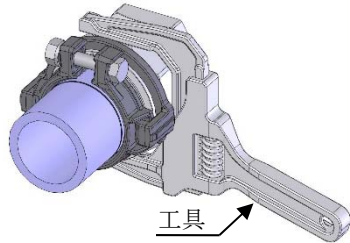
SKX 施工手順 (水道用銅管 2 形用)

- ①パイプに標線を入れ、**分解せず**にそのまま標線まで挿し込む。
(管切断のカエリは取り除く。滑剤塗布不要)
- ③C形連結を中心方向に**押えながら、ストップリングを締めやすい位置にする。**
両端に伸縮量を保った状態で、**ストップリングを標準締付トルクにて締める。**

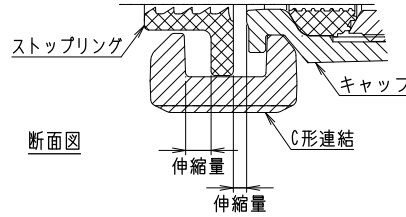
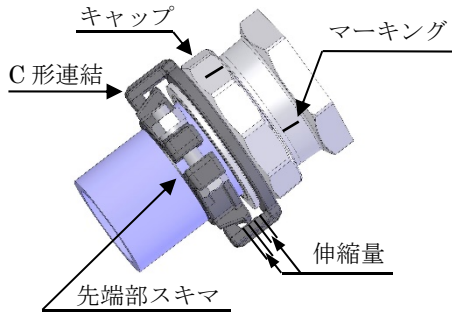


注 1)管止めがある場合は、管止めから 3mm 以上あけて施工する。

- ②本体とキャップを十分手締め(素手)した後、マジック等で**マーキング**する。
ショートレンチ等の工具で、**キャップを標準締付回転数で締め付ける。**



- 注 2)十分な手締め(素手)は 8N・m 程度です。
・SKX 用ショートレンチで締めた場合は 35N・m 程度です。
・手袋使用の場合は、**スベリ止め付グローブ**を使用して下さい。



- 注 3)管とストップリングが直角になるように締め付けること。
注 4)再施工時はボルト・ナットを交換すること。
- ④**接合完了**
キャップとストップリングの**締め忘れを確認**する。

《管の取り外し》

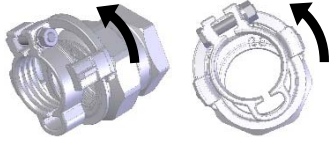
- ・ストップリング締付ボルト・ナットとキャップを**緩めるだけで管と分離可能(分解不要)**。
外れにくい場合は、**ストップリング締付部を開放工具で広げる**ことにより、**管と分離可能(分解不要)**。

管 呼び径	SR 呼び径 (緑)	本体 呼び径	K (mm) +10/-0	キャップ		ストップリング		六角 対辺
				十分な手締め後 回転数	参考締付トルク N・m	標準締付トルク (N・m) (参考締付トルク)		
15	Cu②15	V13	50	1/4~1/2	(15)	当て締め	(6)	10
20	Cu②20	16						
25	Cu②25	Su25	55					

※太字：基準値

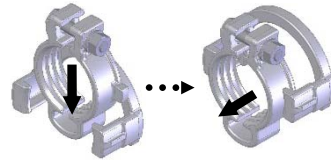
SKXストップリング (SR) 交換手順

- ①C形連結の一方を支点とし、他方をプライヤー等で回し、取り外す。

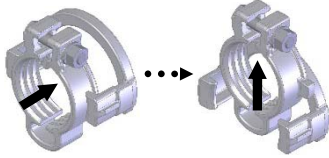


- ③適用管用SRとC形連結を合わせ、SRを下方向に入れ、C形連結から離す。

※右図のように、ボルト・ナットを上にして、向きが逆にならないように注意する。



- ②SRとC形連結を合わせ、SRを上方向に抜く。



- ④C形連結をキャップの外溝に合わせて、C形連結上部を木槌等で軽く叩いて入れ、完了。

